

<全国納税貯蓄組合連合会優秀賞>

## 今の私たちと将来の子供たちを支える税金

郡山市立郡山第一中学校

3年 会津 春菜

「教科書よりわかりやすい参考書はない。」ある授業の途中、勉強方法がわからないと質問した生徒に先生はこう答えた。私はそれを聞いて、解いているワークを一旦閉じて、机の角にあった教科書をもう一度読み返してみた。ほかのクラスメイトも教科書を手に取りはじめると、先生は加えて、

「最後の方のページに載ってあるこの教科書を作った人たちを見てごらん。有名な大学の教授とかが、この教科書を作るのに携わっているんだよ。それなら絶対この教科書の価値は高いと思うよね。じゃあそのことを知った上で、一番後ろの背表紙を見てごらん。実はこの教科書は、税金のおかげで無償でみんなに支給されてるんだよ。それってありがたいことだと思うんだ。だから、君たちはこの教科書をもっと有効に使わなきゃ。」

と言った。

税金に対してマイナスなイメージを持つ人も多いただろう。実際、給料は所得税が引かれて支払われる。私が支払う消費税は時に、この分で何か買えるんじゃないかと考えてしまうほど目先のことにとらわれてしまう。

私には夢がある。先生になりたいという夢だ。先生は公務員なので国民が納めた税金が給料になっている。今私は、夢の実現のために毎日勉強している。考えてみると、学校に行けるのも、先生から丁寧に教えてもらえるのも、クーラーをつけて快適な環境で勉強できるのも、全て税金のおかげなのだ。そう思うと、税金に対する感謝の気持ちがこみ上げてくる。

しかし、問題もある。私たちの生活に税金が不可欠だからこそ、世間は税金の使い方に厳しい。テレビでは、政治家の税金の使い方が悪いというニュースを度々報道している。政治家が反省の形として辞任しているのを見て、私は悲しくなる。先生の仕事だって同じことだ。みんなの納めた税金を給料としてももらうことに、責任と重みがある。そして私たち中学生の責任とは何か。税金によって作られた教科書の使い方を間違わないことだ。有効に使うことだ。その努力をすることが大切だと深く感じた。

今、私たちにできること。物を購入し、消費税8%を納めることはもちろん、税金によってできた環境を理解し、大切に利用することが大事ではないだろうか。

クローゼットに入っている教科書を眺めてみた。小学1年生から中学3年生までの9年間。私はこんなに税金に支えられていたのだと強く実感した。これからの日本を担う私たちへの温かい贈り物。それは全て税金によって作られている。

「税金は人の温もり」

税金は国民を支える大きな役割を果たしている。大人になって、私が夢を叶えた時に、生徒にこのことを伝えたい。